

関東甲信越支部長活動報告

2012年4月



支部長 上浪 寛

支部執行部からのメッセージ

一昨年支部長に就任して早2年が経ちました。昨年は大震災及び被災地支援に始まり、UIA 東京大会開催地支部として、支部総出で大会開催準備の大詰めに尽力しました。皆様、本当にご苦労様でした。大会準備委員会発足から5年間という長い時間を費やしての準備で、本来ならば暫く脱力感が漂いそうなものですが、JIA25周年横浜大会準備が続いているためそのような余裕がありません。新公益社団法人移行への制度対応準備もあり、2012年度の関東甲信越支部活動は昨年以上に盛り沢山です。来る5月9日は支部総会です。総会に引き続き会員集会が開催されます。新法人制度に向けた規程類改定を題材として会員の皆様への報告並びに質疑応答が予定されています。一人でも多くの参加をお待ちしております。

支部長活動報告

- 2日 JIA 横浜大会基調講演をお願いしている田中優子氏を法政大学へ訪ね、基調講演受諾のお礼と講演の内容について打ち合わせする。田中氏から「足るを知る、の江戸時代」という題目を頂く。アーキテクト・ガーデン実行委員会に参加する。地域会、委員会、部会から出ているAGプログラムについてHP公開に向けた整理をする。引き続き JIA 横浜大会学術・運営部会に参加。
- 5日 支部対外活動事業準備会を開催する。UIA 大会を契機として動き始めている対外活動事業には大きく分けて国際事業と国内事業がある。支部国際対外活動事業として、①UIA 東京大会開催時から交流を求められている上海建築学会（ASSC：昨年末 JIA 本部と友好協定を結んだ北京建築学会 ASC の単位会）との交流活動。②JOB 事業を引き継いだ一般財団法人「国際建築活動支援フォーラム」との連携に対応する、国際インターンシップ事業。③一万人の建築家展事業の継続。が挙げられる。支部国内対外活動事業として、①新法人移行に伴う公益目的事業の推進。②地域会活動を推進する事業。コミュニティアーキテクトの活動推進事業として、市民、行政と連携してコミュニティアーキテクトの役割周知を広げ、J-CABE の近似例を

- 増やしていく。また、地域サミット、東京地域連携会議の更なる充実を推進する。③建築界東京の顔として他団体と協同する、東京三会建築会議を継続的に開催する。
- 10日 神奈川地域会の青木代表、藤沼運営部会長と相鉄不動産販売株式会社を訪ね、JIA 横浜大会へ協力をお願いに伺う。相鉄ホールディングスの事業担当者が同席する。現在 JIA 横浜大会は会場が山下公園周辺に集中しているが、横浜駅再開発 (Excite22)、相鉄線が展開する沿線、特に郊外都市の課題について話を伺う。毎月 10 万部を配布する瓦版や車内広告、駅のポスターなど、主旨が合えば協力をお願いできそうだ。
- 12日 JIA 横浜大会実行委員会が開かれる。3 月末を目途に募集した各種プログラムが 37 件に上った。日程及び会場毎にはめ込んでいく。4 月 20 日から HP を公開し、全国支部総会に合わせてポスターを配布していく。
- 13日 午前中は規程類検討特別委員会、午後は第 199 回 JIA 理事会が開かれる。岐阜県岐南町新庁舎並びに周辺施設の公開コンペについて説明がある。JIA 本部にコンペ開催に関する相談がきたもので、要綱案に実績 (用途、規模) による参加資格制限があったものを、JIA の登録建築家または建築士会の統括一級専攻建築士を実績に代わる資格要件として認めている。
- 17日 午前中に支部常任幹事会、午後に支部役員会が開催される。支部対外活動について、2012 年度予算について、新役員構成について、アーキテツ・ガーデンについて、横浜大会について主な議題とした。引き続き横浜大会学術運営部会開催。
- 19日 資格制度委員会が開催される。元々 JIA の登録建築家制度の目的は建築士法の中のアーキテクトとエンジニアを分けることにあった。これから JIA 本部機関誌特集並びにホームページを使って、これまでの経緯を交えてわかり易く広報していく予定。
- 20日 前橋で開かれた群馬地域会の総会に出席し、挨拶並びに新しい会員制度について報告する。神奈川地域会でも総会が開かれ、懇親会に出席するため横浜へ向かう。同日、栃木でも総会が開催されたが残念ながら駆け付けることができなかった。申し訳ありません！ 去年は群馬、長野、神奈川の総会が重なり、連絡のあった順番で群馬、長野に出席し、神奈川には出席できなかった。今後は早めに連絡頂くことで、代理者を立てたいと思う。
- 21日 長野地域会の総会に出席する。去年は金曜日に 3 か所から総会出席の依頼が来て 2 か所しか出席できなかった。今年の長野は土曜日にしてくれたため総会、会員集会、懇親会、2 次会に出席した。
- 23日 本部国際委員会が開催される。本部事業管理委員会から予算削減要請があり、提示された予算額では支部毎の国際事業助成費はできなかったが、その分 150 万円の予算は上積された。

- 24日 スイス建築家協会会員でもあるスイス人建築家2名と大使館員がJIAに来てミーティングを持つ。若手建築家の相互交流やインターンシップについて話し合う。事前にサスティナブルデザインについての意見交換要望があったため、岩村会員がスライドによるプレゼンテーションをした。
- 25日 公益申請のコンサルティングをお願いしている東雲コンサルティングと会員規程、会費規程について擦り合わせを行う。以前より問い合わせをしていた点について回答が出たため急いで修正をかける。
- 26日 JIA 神奈川事務局にて相鉄ホールディングスとの打ち合わせに参加する。JIA 横浜大会協力に前向きな返事を頂く。具体的な共同事業について今後打ち合わせていく。
- 27日 筒井専務、赤堀本部国際委員長等と支部及び本部国際事業について打ち合わせる。具体的にインターンシップ事業を進めるため、6月と11月の横浜大会で国際シンポジウムを企画する。支部交流大会が開催される。活動方針を述べ、新しい会員制度について報告する。夕刻より開催した懇親会には多くの賛助会員に出席いただいたが、支部役員含めて正会員の出席が非常に少ないのが残念だ。支部財政の1/3を担っていただいている賛助会員と正会員は活動の両輪であり、新公益社団法人移行の覚悟を共に共有していかななくてはならない。

支部長活動報告 2012年4月

2012年5月2日作成 上浪 寛



「アーキテクト・ガーデン2012」



「一万人の建築家展」 <http://www.10000architects.com/>